

ま ち の 話 題

豊岡

ミュージック「ア・ラ・カルト」 サロンコンサート出演者が 合同で初のイベント

5月13日、豊岡市民プラザ・ホットステージで、ミュージック「ア・ラ・カルト」と題したコンサートが開催されました。

これは、同プラザの交流サロンで毎月1回定期開催しているサロンコンサートの出演者が一堂に集まって行われた初のコンサートです。

当日、出演者5グループは、「春から夏へ」をテーマにして、「箏とピアノ」「オカリナとギター」などのジョイント演奏やアカペラなどさまざまなジャンルの音楽を披露していました。約150人の入場者は心地よいすてきな演奏に風薫る初夏を感じながら、癒しのひと時を楽しんでいました。



▲初の合同コンサートは、照明、音響、舞台なども市民スタッフによって行われ、心温まる手づくりコンサートは大成功に終わった

城崎

新緑ハイキング

自然を満喫した

さわやかな一日

晴天に恵まれた4月29日（みどりの日）、城崎地域公民館と城崎町子ども会育成協議会共催の新緑ハイキングが行われました。

子ども12人、大人20人の計32人の参加のもと、来日岳登山口から近畿自然遊歩道・大師山ハイキングコースを経て愛宕山までの約7キロメートルを散策しました。

道中では、イカリ草、まぐらがみなどの野草を観察したり、イタドリを食べたり、また湧き水で顔を洗ったり少し飲んでみたり：と自然を満喫しました。

大師山山頂で各々持参のお弁当を食べ、ヤマツツジが群生する道を元気に下りました。



▲笑顔で、元気に山道を登る参加者の皆さん

竹野

地域の魅力づくり講演会 先駆者の魅力づくりに 興味津々

4月22日、竹野総合支所で地域住民を対象とした「地域の魅力づくり講演会」が竹野町ふるさと創生協会の主催で開催されました。

講師には、ゆずジュース「ごつくん馬路村」で知られる高知県馬路村の農業協同組合代表理事組合長・東谷望史さんを迎え、地域性を生かしたまちづくりをテーマに講演が行われました。

参加者からは、「真剣に取り組めば、その中から新しいアイデアが生まれると感じました」と早くも地域づくりに意欲を見せるなど、交流を通して地域の魅力やまちづくりを考えるよい機会となりました。



▲参加者たちは真剣な表情で、地域おこしの話に耳を傾けた

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報係までご連絡ください。

日高

都市と農村交流「山菜狩り交流会」

笑顔と笑顔のおつきあい

5月12日、コープ神戸第5地区本部「日高の会」38人が、神鍋高原名色スキー場を訪れ、地元農産物生産者や加工グループの会員20人と交流を行いました。この交流会は、平成3年から行われているもので、毎年、相互に行き来をしながら、都市と農村の交流を育んでいます。

この日は、澄み渡る青空のもと、虹鱒のつかみ取りや山菜狩りなどを行い、日高の自然を満喫していました。神戸市須磨区から参加した辻 房子さんは「初めて日高に訪れましたがとても穏やかなところで気に入りました。たくさん採ったワラビを近所の方にもおすそ分けします」と清々しい顔で話していました。



▲「たくさん採れました」と収穫したワラビを両手に抱える参加者

出石

幟まわし

願いを込めてまわす幟旗

好天に恵まれた5月5日、宮内地区では出石神社境内を発着点に地区を回る、幟まわしが行われました。

幟まわしは、天日槍の但馬地域開発にまつわるまつりの一つといわれ、男の子の健やかな成長と五穀豊穡の願いが込められています。当日は、同地区の中学生10人が竹法螺吹きと幟持ちに分かれ、竹法螺の囃子歌に合わせ幟がまわされました。

幟持ちを担当した寺田浩人さん（出石中学校3年）は、「幟は重たくて大変ですが、地区に伝わる伝統行事を今年も無事執り行うことができました」とほっとしていました。



▲地区に伝わる幟には、勇壮な武者が描かれている

但東

おおいくべひょうす
大生部兵主神社春の大祭

神楽「浦安の舞」と「練り込み太鼓」を奉納

5月3日、牛馬守護、学業成就、交通安全の神様として知られる薬王寺地区の大生部兵主神社で春の大祭が行われました。

当日は、豊作を願って祝詞があげられた後、舞台の上で小中学生4人が巫女に扮し、神楽「浦安の舞」が華麗な舞によって奉納されました。また、すがさをかぶった地元の練り込み保存会が、神社周辺で「練り込み太鼓」を披露し、笛や太鼓の音が辺りに響き渡っていました。

最後は皆さんお待ちかねの景品付もちまきが行われ、もちを拾おうと多くの人が集まり賑わいました。



▲紅白の衣装を身にまとった4人の巫女が舞台の上で神楽「浦安の舞」を華麗に舞った